

生 活

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

1 教育基本法の理念や第三期長崎県教育振興基本計画の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成、「本県教育が目指す人間像」の育成に資する内容、構成となっているか。
	(2) ふるさと長崎の伝統・文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
共通 観点	(1) 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得されるよう工夫されているか。
	(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等が育成されるよう工夫されているか。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう工夫されているか。
教科 独自 観点	(4) 活動内容及び教材は、児童の身近な事象を取り上げ、具体的な活動や体験を通して気付きの質を高めるよう工夫されているか。
	(5) 具体的な活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付き、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されているか。
	(6) 入学当初において、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行うスタートカリキュラムが編成できるよう工夫されているか。
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長	
共通 観点	(1) 文章は、分かりやすく、質・量ともに豊かな記述内容となっているか。
	(2) 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。
	(3) レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。

II 選定資料利用上の留意点

- 1 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	信 教	光 村	啓林館	日 文
<p>1 性教育計画の育成を趣旨とする上での特長</p>	<p>(1) 教育目標の達成、人間構成、及び「こころ」の育ちを目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、児童が学校や家庭で学習を振り返っている様子をイラストと吹き出しを用いてわかりやすく示すことで、周りの人々の温かな支えの中で成長している自分を実感できるよう配慮されている。 動物や植物との継続的なかかわりを大切に単元構成とし、飼育・栽培活動の発展や表現の具体例を掲載することで、生き物への親しみを持ち、生命を大切にしようとする態度を育てるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元末に振り返りのページを設け、学びを深めたり日常生活に活かしたりする活動を仕組むことで、自分の成長を実感したり、さらなる成長に向けて意欲を高めたりできるよう配慮されている。 「どうすれば」コーナーで児童に考えてほしい点をイラストで複数示すことで、社会規範や道徳性などの豊かな人間性を身に付けることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の自己評価の視点や教師の言葉かけ、板書例を具体的に示すことで、児童が各単元での学びを振り返りながら、成長を確かめたり、教師が自立を支えたりすることができるよう配慮されている。 「ひろがるきもち」のコーナーを設け、学びを日常生活へ発展させるよう促すことで、優しい心で相手に接する態度を養うことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「こんなに大きくなったよ」では、自分の成長について多様な視点や方法でまとめたり、交流したりする活動を仕組むことで、成長の喜びを味わうことができるよう配慮されている。 「ポケット図かん」の内容を充実させることで、児童の興味・関心を高め、楽しさや親しみ、驚きや感動、不思議さや好奇心を呼び起こしながら活動を発展させるよう配慮されている。
	<p>(2) 教材をよみかき、ふかき、わきまをわける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 端午の節句や七夕など日本に伝わる季節の行事、正月などの伝統行事に込められた人々の願いや思いを調べる活動を充実させることで、本県の伝統的な季節行事について興味・関心をもたせることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「なつのはるのしみ」「ふゆのはるのしみ」「きせつのおくりもの」の各ページで、地域の伝統行事や季節の動植物、町の様子などを紹介することで、本県の行事や自然の様子に興味・関心をもたせることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「きせつだより」で、本県の海の写真をはじめ、全国各地の自然の様子を掲載することで、児童が地域への興味・関心を高め、愛着をもつことができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地の自然、特色ある伝統行事や祭り、日本遊びなどを掲載することで、本県の行事や祭りにも興味・関心をもたせることができるよう配慮されている。
<p>2 学習指導要領の確かな学力</p>	<p>(1) 基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な習慣や技能を絵や文で示すことで、学習を通してそれらを身に付けることができるよう工夫されている。 身近な動植物を写真や絵で大きく掲載することで、意識して名前を覚えたり育て方を理解したりするなどして、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な動植物を大きな写真で提示したり、二次元コードを利用して季節の資料を見ることができるようにしたりすることで、知識・技能が確実に習得できるよう工夫されている。 巻末「ひろがるせいかつてん」で、生活に必要な習慣や技能を整理して示すことで、児童が繰り返し活用しながらそれらを身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者にも生活科の学習内容が分かるように明示したり、二次元コードを掲載したりすることより、学校と家庭が協力して生活に必要な習慣や技能を身に付けさせることができるよう工夫されている。 巻末「がくしゅうずかん」で、生活に必要な習慣や技能、季節の動植物や育て方などを整理して掲載することで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節に応じた遊びや動植物の育て方を分かりやすく掲載したり、ホームページの活用を促したりすることで、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう工夫されている。 巻末「ちえとわざのたからばこ」で、基礎的・基本的な知識・技能として身に付けさせたい内容や事柄をまとめて示すことで、必要に応じてそれらを活用することができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>2 育成を図る上での特長</p> <p>学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の</p>	<p>(2)</p> <p>知識・技能を 活用する ために 必要な 思考力、 判断力、 表現力等 が育成さ れ、活用 されるよ う工夫さ れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を解決するヒントを児童や教師の言葉で適宜紹介することで、それを手掛かりにして、考えたり表現したりすることができるよう工夫されている。 「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」などの多様な学習活動例を写真や挿絵、吹き出しなどで示すことで、思考力を育むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の写真や絵、作品例を掲載することで、児童が実際の生活と比べながら問題解決を行い、思考力、判断力、表現力等が育まれるよう工夫されている。 話形を示したり、友達との交流場面を設定したりすることで、自分の思いを自分の言葉で表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人の話や本、インターネットなど多様な情報を活用する場面を示すことで、場や状況に応じた思考力、判断力、表現力等を育むことができるよう工夫されている。 各単元で、様々な人との関わりをキャラクターを用いて提示することで、興味・関心を高めるとともに、コミュニケーション能力が育まれるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動後に書くカードの例を掲載することで、それらを参考にしながら自らの表現力を高めることができるよう工夫されている。 学んだことを言葉で伝え合う活動を設定することで、コミュニケーション能力を育てたり、新たな課題を考えたりできるよう工夫されている。
	<p>(3)</p> <p>主体的に 学習に 取り組 むこと ができる よう工 夫され ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターを用いて気付きを促したり、活動内容を示したりすることで、学習内容や活動の流れを理解し、進んで学習に取り組むことができるよう工夫されている。 学習の節目に「○○をつたえよう」「○○をつたえ合おう」などの対話を促すページを設けることで、これまでの学習を振り返り、身に付けた技能を基に主体的に表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に学習問題を風船の枠囲みで明示することで、課題を明確にし、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ヒントコーナーで「せいかつことば」や「きらきらことば」を紹介することで、興味・関心をもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の展開を「どきどき」「いきいき」「ふむふむ」「にこにこ」と段階的に示すことで、自ら課題を見付け、主体的に解決していく態度を身に付けることができるよう工夫されている。 「ものしりノート」で、植物を利用した遊びや育て方、昆虫の生態の一端を紹介することで、自らの体験と重ねながら課題を見付け、主体的に学習することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の冒頭に学習のめあてをサイコロの枠囲みで明示したり、ヒントややくそくコーナーを設けたりすることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 各単元に自信や意欲のバロメーター「まんぞくはしご」のページを設けることで、学習意欲を高め、課題解決への達成感を味わうことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	信 教	光 村	啓林館	日 文
<p>2 を 学 習 指 導 要 領 の 目 標 や 内 容 等 を 踏 ま え て、 確 か な 学 力 の 育 成</p>	<p>(2) い 育 考 を 知 る 成 力 解 識 か さ 、 決 ・ れ 判 す 技 能 を 断 る 能 を よ 力 た め 活 工 表 現 必 し さ 力 要 て れ 等 な 課 題 が 思 題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題をもって「調べ」「考え」「行い」「表現する」活動を意図的に配列することで、問題解決で活用する技能を身に付けることができるよう工夫されている。 ・単元ごとに、活動内容に関連する季節の歌や詩を掲載することで、いろいろな言語に触れ、豊かな表現力を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ステップ」のページでは、たくさんの写真や絵、児童のつぶやきを掲載することで、自由に気付きを表現することができるよう工夫されている。 ・「どうすれば」で、いろいろな問題解決の方法を紹介し、自分で考える欄を設けることで、思考力や判断力を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身振り手振りや実物提示、グループ内での伝え合いなどの多様な言語活動を掲載することで、児童が生き生きと活動しながら表現力を身に付けることができるよう工夫されている。 ・活動後に児童が書くカードの例を掲載することで、それらを参考にしながら、表現力を身に付けることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の写真や絵、作品例を掲載し、それを問題解決に役立てることで、思考力・表現力を育てることができるよう工夫されている。 ・「見つける」「比べる」「たどる」「試す」などの学習活動を、写真や絵、言葉などで掲載することで、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができるよう工夫されている。
	<p>(3) る が 主 体 的 に 付 に く 学 習 よ う に 工 取 夫 り さ 組 れ む て 態 度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元で、自分や友達の生活・成長・地域との関わりを振り返る場面を設定することで、自分や友達の成長に気付き、より主体性が高まるよう工夫されている。 ・学習の流れにストーリー性をもたせることで、主人公と同じ立場に立って考えたり、活動したりしながら主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元を「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」「もっとやってみよう」の4つで構成し、学習活動のねらいや流れを明確に示すことで、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう工夫されている。 ・はがせるシールを用いて「ジャンプ大しゅうごう」を作り、1年間の学びを視覚化することで、自分の学びを振り返り、さらに学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、単元を「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の展開で繰り返すよう紙面を構成することで、児童が主体的に学習に臨むことができるよう工夫されている。 ・紙面右下に児童同士のやりとりを適宜設定することで、主体的な活動が日常生活にもつながるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてや流れ、「ふりかえる・つなげる」コーナーを掲載することにより、学習の流れを明確にし、主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ・扉ページに児童の興味をひく写真を大きく掲載したり、活動の様子がイメージできるように写真やイラストを効果的に配置したりすることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	東 書	大日本	学 図	教 出
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 工夫された活動の質を高めることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公園や校庭の季節による変化を挿絵や写真、吹き出し、児童作品等で示すことで、それを手掛かりに気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 「まちたんけん」では、季節に応じて暮らしや町の様子の変化を探る活動を繰り返すことで、自分の町に対する気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の活動では、挿絵や写真、イラストの吹き出し、巻末の資料等から必要に応じてヒントが得られるようにすることで、気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 地域の人にたずねたり、ペア、グループ、全体などの交流や伝え合いなどの表現活動を繰り返したりする学習を位置付けることで、気付きの質が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動で得られた児童の気付きや思いを絵や工作物、手紙、劇化等の様々な方法で表現する例を示すことで、気付きの質を高め、次への活動へと広げられるよう工夫されている。 「わたしのあさがお」や「わたしたちの野さいばたけ」では、成長の過程を分かりやすく示すことで、栽培、観察を通して気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸感覚を使った観察や見方を変える視点を示したり、予想や整理して考える等の学習活動を促したりする「ヒント」を設けることで、児童の気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 児童が活動後に書いたカードを掲載し、感じたことなどを例示することで、それらを手掛かりとして気付きの質を高めることができるよう工夫されている。
	<p>(5) 工夫された活動の質を高めることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「あそびずかん」や「おもちゃずかん」では、教材や活動を掲載することで、児童の興味・関心、学校や地域の実態等に応じて参考にできるよう工夫されている。 発達の段階に応じて、活動や体験を通しての気付きや分かったこと等を振り返る活動のコーナーを位置付けることで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して気付いたことをカードにまとめ、保護者や地域の人々や園児に紹介する活動例を設定することで、自分自身や自分の生活について考えることができるよう工夫されている。 「せいかつことば」「きらきらことば」を掲載することで、表現力の向上を図り、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元に「ものしりノート」を掲載し、遊び方、作り方、育て方等を分かりやすく示すことで、人や自然に関心をもって学習できるよう工夫されている。 活動についての思いや願い、気付き等を表現しているカード例を掲載することで、児童が活動を振り返りながら自分の考えを豊かに表現することができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の終わりに自己評価の欄や「伝えたいな」のコーナーを設けることで、活動を振り返り、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 四季の変化についての資料を掲載することで、身近な自然や生活の変化などに気付きながら、自分自身や自分の生活について考えることができるよう工夫されている。
	<p>(6) 工夫された活動の質を高めることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例やスタートカリキュラムの意義について解説した保護者メッセージを掲載することで、学校と家庭との連携を図ることができるよう工夫されている。 スタートカリキュラムの参考となる特設ページを設けることで、入学当初において生活科を中心とした合科的・関連的な指導から教科へ分化していくことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の一日の流れを知らせる写真を掲載することで、学習規律やあいさつの指導等の適応指導を徹底するプログラムを仕組むことができるよう工夫されている。 幼児教育で慣れ親しんだゲームを紹介することで、入学当初の児童の不安を和らげながら、合科的・関連的に指導できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「みんななかよしちねんせい」の特設ページを設けることで、入学したばかりの児童が学校生活にスムーズに適應できるよう工夫されている。 「がっこう だいすき」では、折り込み8ページの中に一日の学校生活の流れをイラストで示すことで、合科的・関連的な指導を行うことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期に習得したことを生かして活動するページを掲載することで、児童が幼児期とのつながりを感じながら、学校生活に適應できるよう工夫されている。 幼児期に体験した遊びや一日の学校生活の様子が分かるページを掲載することで、合科的・関連的な指導を行うことができるよう工夫されている。

Ⅲ 具体項目

生活

観点	発行者	信 教	光 村	啓林館	日 文
<p>2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長</p>	<p>(4) 児童活動の内容を、身近な体験を通して、高めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢中になって活動する姿や感動を表す言葉を掲載することで、活動への意欲を喚起し、気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 ・地域に根差した季節ごとの遊びや活動を掲載することで、具体的な活動や体験への意欲を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいに即した言葉の吹き出しを示すことで、実際に動作化し、質の高い気付きへと導くことができるよう工夫されている。 ・自分の活動を振り返って書くシールを設けることで、それを活用して、気付きを関連付けたり、視点を変えて捉えたりしながら気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「がくしゅうずかん」や「わくわくボックス」等を掲載することで、学びが広がり、気付きの質が高まるよう工夫されている。 ・季節ごとに継続して町のよさを発見する活動を位置付け、それぞれのねらいに則した児童の言葉を示すことで、気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料を掲載することで、各単元の写真やイラスト、図、吹き出し等と関連させながら考え、気付きの質を高めることができるよう工夫されている。 ・活動の節目に「はっけんカード」や「ふりかえる つなげる」コラムを掲載することで、新たな発見のヒントとし、さらに質の高い気付きが得られるよう工夫されている。
	<p>(5) 児童の生活や体験を、自分自身や自分の生活に目を向け、考えることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の言葉をイラストで示したり、体験活動カードを掲載したりすることで、自分自身や自分の生活に目を向け、考えることができるよう工夫されている。 ・自然との関わり方や行事に込められた人々の思いを調べる活動を位置付けることで、自分の生活について考えることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動の写真に掲載することで、児童の興味・関心に応じて活動を決定することができるよう工夫されている。 ・「どうすれば」のコーナーに「ほかにもあるかな」の欄を設けることで、自分で考え活動に臨むことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の節目に自己評価の欄や次の活動へつながるよう「ひろがるきもち」を設けることで、自分自身や自分の生活につなげて考えることができるよう工夫されている。 ・学習を保護者と共有できるよう二次元コードやメッセージを掲載することで、学校での学びを生活の中でも活用できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や地域の人、家族との関わりを表す写真やイラスト、吹き出し等を掲載することで、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるよう工夫されている。 ・イラストで授業の板書例を示すことで、児童が自ら学習の見通しをもち、活動に取り組むとともに、学習を振り返って、気付きを表現できるよう工夫されている。
	<p>(6) 児童の生活や体験を、自分自身や自分の生活に目を向け、考えることができるよう工夫されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・導入「うれしいな いちねんせい」において、様々な人とのあいさつの場面を提示することで、コミュニケーションの大切さや人とのつながりについて児童が気付くことができるよう工夫されている。 ・学校生活の一日の流れや幼児期に学んだ遊びを掲載することで、合科的・関連的な指導ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえて「あたらしい いちねんせい」を設けることで、学級の友達や教師との望ましい関係を築くとともに学校生活への不安を和らげるよう工夫がされている。 ・児童の写真とともに活動に関するコメントを掲載することで、園で体験していたゲームや遊びを想起させながら、合科的・関連的な指導ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へ向けたメッセージ、園で体験してきた活動の様子や学校生活での楽しそうな写真などを掲載することで、入学時の不安や緊張を和らげることができるよう工夫されている。 ・「がっこうだいすき あいうえお」で、あいうえおを合言葉とし、写真で学校生活の様子を掲載することで、楽しみながら合科的・関連的な指導に導くことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いちねんせいになったら」では、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿をもとに、学校生活の様子や保護者へのメッセージを掲載することで、不安を和らげ、楽しい学校生活を送ることができるよう工夫されている。 ・園で経験した遊びやゲームを掲載することで、学校生活に生かしながら、合科的・関連的な指導ができるよう工夫されている。

